

令和8年度 第1回尾張旭市介護保険運営協議会会議録

1 開催日時

令和8年7月24日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

2 開催場所

市役所4階 第1委員会室

3 出席委員

小塩 泰代、日比野 壮貴、可児 寿英、古橋 完美、秋田 誠、岡田 敏彦、
與語 純子、長谷川 裕子、斎藤 恵津子、鈴木 亮二、橋本 千尋、瀬木 敦
子、藤川 千恵（計13名）

4 欠席委員

鷺尾 幸子、柴田 豊（2名）

5 傍聴者数

なし

6 出席した事務局職員

健康福祉部長 臼井武男、健康福祉部次長兼長寿課長 鈴木清貴、長寿課長補佐
秋山さちこ、長寿課介護保険係長 松平康介、長寿課長寿支援係長 喜多野純子、
長寿課主事 中島万由子、尾張旭市地域包括支援センター所長 松野宏美、次長 星
原淳一、尾張旭市地域包括支援センターサンヴェール尾張旭 寺田健太郎、生活支
援コーディネーター 森島一樹、委託業者（株）サーベイリサーチセンター 田口直
美

7 議題

(1) 第10期高齢者保健福祉計画の策定について

ア 第9期高齢者保健福祉計画の進捗報告及びアンケート調査結果の概要につ
いて

イ 第10期高齢者保健福祉計画の策定に向けた検討事項について

ウ 日常生活圏域について

(2) 尾張旭市地域包括支援センターの運営状況について

(3) 介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について

(4) その他

8 会議要旨

< 開 会 > 事 務 局 小 塩 会 長 長 寿 課 長 寺 田 所 長 長 寿 課 長 小 塩 会 長	健康福祉部次長兼長寿課長の鈴木でございます。定刻となりましたので、令和8年度第1回尾張旭市介護保険運営協議会を始めさせていただきます。 本日はお忙しい中、また大変暑い中お越しいただきましてありがとうございます。本日は、鷲尾委員、柴田委員から、欠席の連絡を伺っておりますが、13名の委員の御出席をいただいております定足数に達しておりますので開催させていただきます。 なお、この協議会は、尾張旭市附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第6条の規定に基づき、公開により開催されております。最終的に会議の会議録を公開させていただく予定ですので、ご承知おきいただけると幸いです。 それでは、開会に当たりまして、会長の小塩様からあいさつをいただきます。 ＊ ＊ あいさつ ＊ ＊ 続きまして、今年4月から新たに開設いたしました尾張旭市地域包括支援センターサンヴェール尾張旭の寺田所長からあいさつをいただきます。 ＊ ＊ あいさつ ＊ ＊ 続きまして今年度事務局の中で異動がございましたので、ご紹介をさせていただきます。 長寿課長の鈴木でございます。 長寿課長補佐兼長寿支援係長の喜多野でございます。 よろしく願いいたします。 それでは、議事に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。 ＊ ＊ 資料の確認 ＊ ＊ それでは、以降の議事の進行につきましては、会長にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 それでは、議事に入ります。本日は、議題が4件ございます。
--	---

小 塩 会 長	初めに、議題(1)「第 10 期高齢者保健福祉計画の策定について」【ア 第 9 期高齢者保健福祉計画の進捗報告及びアンケート調査結果の概要について】、事務局からご説明をお願いいたします。
事 務 局	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。
秋 田 委 員	最初に説明のありました第 9 期の現状報告についてです。資料 1－1、4 ページの重点取組 2 に、医療と介護との連携強化と題してまとめてあります。①医療・介護の連携体制の強化、その下に医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、と始まっていますが、医療関係者、介護関係者、その両方で介護やいろいろなサービスを受ける高齢者、この 3 者が取り上げられているというように読みました。端的に言いますと、それぞれの現場の声は一体どんなものだろうと思いましたので、この場を借りて確認の意味もこめて質問させていただきました。 この表の上段、1 にあたる在宅医療・介護連携体制、この部分について質問させていただきます。表の中では、内容のところに丸が 3 つあってそれぞれ昨年度の取組項目が書いてあると思います。3 つ目の丸は、事業への理解と相互の理解を深めるため、ニーズを把握したりそれぞれグループで研修をやったり、いろいろな活動で少しでも効果を上げるようにしていきましょう、そのような内容が書いてあると思います。 質問ですけれども、それぞれ現場ではどんな声が出てきたのか。医療関係者であれば現場ではこんな声がありましたよ、介護の関係者、利用者は先ほど説明していただいたアンケートのほうで大きな方向性はわかりますけど、せっかくですので現場の声はどんなものがあるか紹介をしてほしいと思います。それが 1 点目です。 2 点目は、そうした声を聞いて既にこんなことをやりましたよというような実施例がありましたら、いい機会ですので聞かせていただきたいと思います。
小 塩 会 長	ありがとうございます。 連携強化というところで、医療、介護、当事者それぞれがどんな思いを持っているか聞きたいというご質問だと思います。それぞれの当事者の声について、把握しているところがありましたらご発言いただきたいと思います。

事務局	ご質問ありがとうございます。 昨年の１１月ごろですが、瀬戸旭医師会に事務局を委託しています、瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会が中心となって色々な専門機関へのアンケートを実施しています。 その中で、医療機関からの回答では５５％がこの連携についてうまくいっていると回答してくださっています。 実際の声としましては、も一やっこネットワークを使って医療情報をリアルタイムで共有できるというところで有効だと回答されています。逆にうまくいっていないという内容としましては、事前連絡なしで外来受診をされてしまうとか、お互いの意思疎通が不足している、連絡が不十分だということどううまくいっていないというような声が上がっています。 ケアマネ、居宅介護支援事業所さんへの調査では、４２％がうまくいっていると回答しています。実際の声としましては、医療系サービスの医師の意見がもらいやすいですとか、医師と看護師との連携がスムーズになっていますという回答がありました。逆にうまくいっていない点としましては、病院からの情報提供が遅い、退院や転院の情報が事後報告であるというところがあげられています。 利用者の方々のアンケートについては今回この時点ではしていませんが、先ほどのアンケート報告を参考にできればと思っています。 ２点目の質問についてです。この声をどう現場に反映したか、事例があるのかというご質問ですけれども、このアンケート結果を在宅医療連携部会で検討しました。 検討した結果としましては、うまくいっていないという声が、仕組みに対する声ではなかったもので、早急に何か対策を打つことは必要ではないのではないかということで、特にこれを変えたというはありません。また、今後何かあったら対応していきましようというところでこの検討会は終わっています。 ただ、うまくいっていないといった声については、やはり顔の見える関係がないのでこういう声が上がってくるのかなと思いますと、今の在宅医療連携協議会も年に何回かやっていて、たくさん専門職が顔を見合わせて意見交換をする場が瀬戸旭にはありますので、回数を重ねていくと、解決に近づいていくのではないかと考えております。以上です
秋田委員	よくわかりました。これから頑張ってやっていただければと思います。よろしくお願いします。
小塩会長	他にいかがでしょうか。 ないようでしたら、次の議題に進みたいと思います。

小 塩 会 長	続いて、【イ 第10期高齢者保健福祉計画の策定に向けた検討事項について】説明をお願いいたします。
事 務 局	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ご説明ありがとうございます。ご意見、ご質問はありますか。
岡 田 委 員	新しい認知症観、これがまだなかなか知られていなくて、もうちょっと深く普及してほしいなと思います。4、5年ぐらい前からフレイルという言葉が一般化されたぐらいなので、それも市や色々な団体の方が講座や町内の行事に参加していただいて、やっと知られてきたことを思うと、これを早めに定着させるために色々な行事やPRをしていただきたい、それを事業に入れていただきたいと思います。
小 塩 会 長	認知症観のPRというところですが、認知症の方々が地域の中で自分らしく生活できる、そういったまちづくりにおいても認知症への理解を進めるということが含まれるかなと思います。そういったご意見でしたが、これについて何かありますか。
事 務 局	ご意見ありがとうございます。私どもも、ぜひそれを推進していきたいと考えておりまして、先ほど少しお話したのですが、本日オレンジガイドブックというものを皆さんのお手元にお配りしたかと思います。それがまさに普及啓発の第一歩でして、これを色々な方に配って理解していただきたいなと思っています。 認知症といいますと、今でもそうですがすごく絶望的な感じ、認知症と診断されてしまうともう何もできなくなって、何もわからなくなってしまふという悲観的な印象を皆さんお持ちだと思ふんですけれども、この表紙の写真のお二人は、愛知県の認知症の希望大使の方たちで、認知症の印象を変えていこうと、講演会などを開催されています。認知症と診断されても、まだまだやれることがたくさんあって、地域づくりに参画できるというような尾張旭になってほしいと思っていますので、これを土台にして普及啓発をしていく予定になっています。ありがとうございます。
小 塩 会 長	ありがとうございます。こういった普及啓発用のパンフレットもありますが、口コミといったものも大事だと思いますので、認知症はこうらしいよ、こういったパンフレットやチラシがあるよということをみんなで話し合いながら関心を持ってもらえるといいと思います。

小 塩 会 長	他にないようですので、次の議題に移りたいと思います。 続いて【ウ 日常生活圏域について】説明をお願いします。
事 務 局	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ご説明ありがとうございます。この議題について、ご意見、ご質問はありますか。 一般的には日常生活圏域は中学校区と言われていますが、それよりもっと情報が把握しやすかったり、住民の方たちが利用しやすいように小学校区になっているということですが、よろしいでしょうか。
地域包括支援センター 松 野 所 長	ないようですので、次の議題に移りたいと思います。 議題(2)「尾張旭市地域包括支援センターの運営状況について」地域包括支援センターから説明をお願いします。
小 塩 会 長	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見、ご質問はいかがでしょうか。 先ほどのアンケートの中でも地域包括支援センターの認知度が少し高まっているというような結果もありますので、そういったところでもいろいろ相談などやってもらえるといいかなと思います。
地域包括支援センター 松 野 所 長	それでは、議題(3)「介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について」地域包括支援センターから説明をお願いします。
小 塩 会 長	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
事 務 局	それでは、議題(4)「その他」について事務局から説明をお願いします。
小 塩 会 長	＊＊ 説明 ＊＊
小 塩 会 長	ご説明ありがとうございます。今の説明に対して、ご意見、ご質問よろしいでしょうか。

小 塩 会 長	ご意見、ご質問もないようですので、以上を持ちまして、本日の議題は終了とさせていただきます。 それでは、事務局から今後の日程を含めた連絡事項等をお願いします。
事 務 局	＊＊ 今後のスケジュール説明 ＊＊ ・第２回予定 令和８年１１月頃 ・第１０期高齢者保健福祉計画策定について ・地域包括支援センターの事業評価について
小 塩 会 長	これを持ちまして、令和８年度第１回尾張旭市介護保険運営協議会を終了させていただきます。本日は長時間に渡り御審議いただきまして、ありがとうございました。